

# エルサルバドル政治経済月報

(2018年6月分)

2018年7月  
在エルサルバドル大使館

## [大使館のビジョン]

エルサルバドルとの友好親善関係を増進し社会発展に貢献しながら日本の国益と国際公益の向上を目指す。

## [大使館のミッション]

1. 日本の平和や繁栄を守るための外交政策の構築と実行。
2. エルサルバドルの世論に働きかける広報・文化事業の推進。
3. 在留邦人の生命と財産の保護，日系企業の活動支援。
4. 政治経済情報の収集・分析。
5. 自立的かつ持続的な開発への協力。
6. 服務規程を遵守し，風通しの良い職場環境の維持。

## 内政

### 1. サンチェス・セレン政権4周年成果演説

1日、サンチェス・セレン大統領が政権4年目の成果報告演説を行った。同報告演説において、治安分野では、治安対策、犯罪者に対する社会復帰プログラム、警察設備・装備に対する投資等に言及。経済分野では、世銀の国際競争力ランキングの順位上昇、FDI総額の増加、GDP成長率、保健・教育・福祉分野では、貧困率の減少、最低賃金引き上げによる国民生活の質の向上、学生用パソコンの配布、病院施設への投資に言及。

### 2. フネス前大統領への逮捕状

8日、検察庁(FGR)が、フネス前大統領(ファラブンド・マルティ民族解放戦線(FMLN))に対するマネーロンダリング、公金横領等の容疑に関する逮捕状を請求した。右は国際援助機関の有償及び無償協力資金の総額8,354万ドルが不正に使用されたとされている。

### 3. 水支援の民営化を巡る抗議活動

14日～16日、サンサルバドル市を中心に水資源の民営化を巡る抗議活動が行われた。昨年6月に国会に提出された包括的水利法案が、水資源の民営化につながるのではないかと懸念が広がっている。

### 4. ブケレ前サンサルバドル市長と民主革命党(CD)の選挙同盟発表

21日、2019年エルサルバドル大統領選挙への出馬を目指すブケレ前サンサルバドル市長が、民主革命党(CD)との選挙同盟を組むことを発表した。

## 外交

### 1. 中米北部三カ国首脳とペンス米副大統領の会談

29日、サンチェス・セレン大統領はグアテマラを訪問し、ペンス米副大統領、モラレス・グアテマラ大統領、エルナンデス・ホンジュラス大統領と移民問題にかかる会談を行った。

### 2. サンチェス・セレン大統領の第51回中米統合機構（SICA）首脳会合への出席

30日、サンチェス・セレン大統領がドミニカ共和国で開催された第51回SICA首脳会合に出席した。

## 経済

### 1. 中米・韓国 FTA の国会批准

22日、当国国会は中米・韓国 FTA を批准し、エルサルバドルは中米諸国において本 FTA 初めての批准国となった。

本 FTA により、75%の品目の関税が即時撤廃され、25%の品目は3-7年で段階的な関税撤廃が行われる。なお、鉄、鋼鉄、プラスチック、鳥類品目、乳製品等はセンシティブ品目となっている。今後、エルサルバドル当局と韓国当局により発効日が調整される。

### 2. 財政問題フォーラム開催

27日、「中期的な財政問題解決に向けた政治・技術的合意の可能性」と題したフォーラムが財務大臣、エコノミスト、民間セクター及び国際援助機関の出席の下、開催された。

本フォーラムでは、財務大臣が財政問題解決に向けて、政府は32億5,771万ドルの新規国債発行の許可を国会に求めている旨説明し、本資金を2019年-2024年までに償還期限を迎える国債のリファイナンスに当てる旨述べた。これは、喫緊の財政リスクを軽減し、当国国債格付けを改善することで、国内・海外投資家にとってより魅力的なものにすると同時に、国債の利子率低下を目的としている。

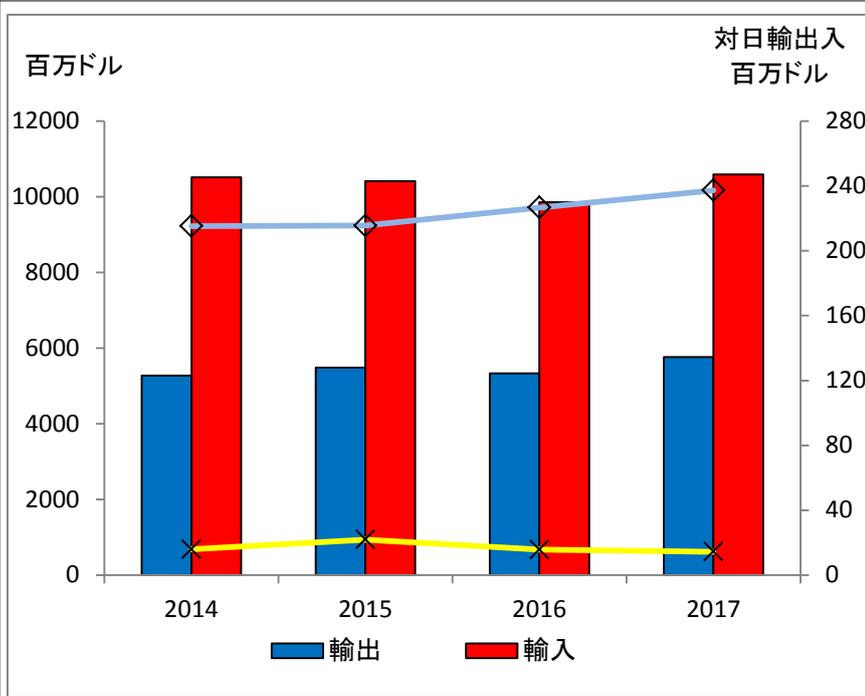
また、財務大臣はこの取組だけでは不十分であり、今後15年-20年先を見据えた厳格な財政管理と官民投資に牽引される経済成長を行っていく必要があると説明した。

### 3. エルサルバドルーコスタリカ間のフェリー貨物輸送開始発表

29日、当国経済省は、今般のニカラグア情勢により、貨物の陸上輸送が十分に機能していないことを受けて、一時的な代替案として当国ラ・ウニオン港とコスタリカのカルデラ港間のフェリーによる貨物輸送を2週間以内に開始する旨発表した。

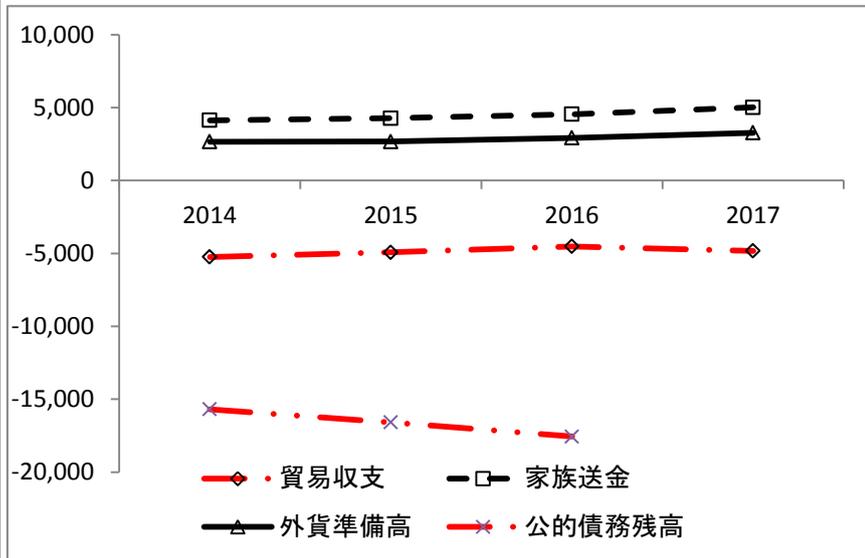
ロドリゲス経済大臣は、本フェリー計画開始のための全ての必要プロセスを終了した旨述べ、またコスタリカ側もカルデラ港使用のための手続が終了している旨言及した。

なお、フェリーの収容能力は週に100コンテナである。



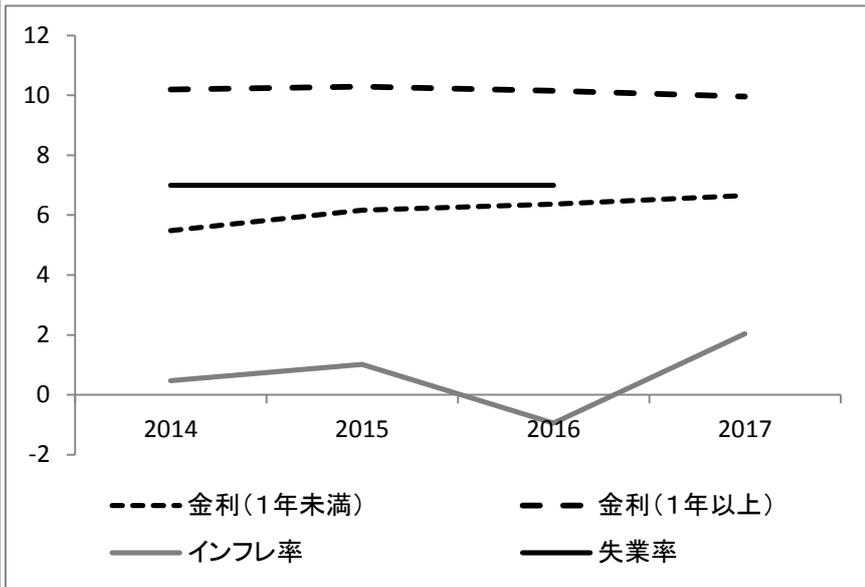
・2017年度輸出額は前年比で6.3%増加し、57億6千万ドルとなった。中でも、衣服、繊維、砂糖の輸出が輸出額増加に寄与した。

・輸入に関しては、前年比で7.8%増加し、105億9,200万ドルとなった。



・輸出は増加したものの、貿易赤字は前年比で9.6%増加し、48億3,200万ドルとなった。

・2017年の家族送金額はここ数年で最も高くなり、前年比で9.7%増加し、50億2,100万ドルとなった。米国からの家族送金は全体の約97.2%を占める。



・2017年度のインフレ率は2.04%となった。主に、住居、水、電気、ガス価格が上昇したことに起因。

出所：中央銀行，経済省統計局より作成

## 治安

### 【主要事件・報道】

1. 当地主要紙の報道によると、本年1月から6月末日までの殺人件数は1,803件となり、昨年同時期と比べると1%上昇（2017年同時期よりも18件増）。治安当局によると、殺人事件の主な内容としては、敵対するマラスグループ間の抗争、または、マラス組織内での内部抗争によるものであるとのこと。

2. 6月18日付、当地主要紙の報道によると、今年1月から6月17日の間に、9,261件の交通事故が発生、614人が死亡、4,518人が重軽傷を負っており、その事故のほとんどが交通ルール違反（飲酒運転や速度超過）によるものであった。治安当局は、飲酒運転者の取り締まり強化を行っており、今年に入り、危険運転者を805人検挙している。また、違法駐車を取り締まりにも力を入れ始めている。

### 【主な邦人居住地区及び観光地治安情報】

1. 6月中のサンサルバドル市サンベニート地区及びエスカロン地区の殺人発生件数は1件。

6月14日、深夜帯に、サンサルバドル市エスカロン地区（la 1 calle poniente 通りと Bulevar Constitucion 通りの交差点付近）にて、おもちゃの銃を使用し、通行人や車両運転手に対して、強盗を行っていた男が、被害者より発砲を受け、負傷し、病院へ搬送される事件が発生した。事件発生場所は、「la plaza Salvador del Mundo」の近くであった。比較的、安全であると言われているエスカロン地区であっても、時間と場所を間違えれば犯罪被害に遭う可能性は高くなる。なお、車両強盗は、渋滞により身動きの取れなくなった車両をターゲットとしているため、運転時間や道路状況等を考慮し、犯罪被害に遭わぬよう警戒する必要がある。

2. 6月19日午後3時頃、サンサルバドル市エスカロン地区 Paseo Gneral Escalon 通りと Mirrador 通り交差点付近の建物にて、建物改修業者が作業中に、何者かに殺害される事件が発生した。現在、治安当局にて捜査中であり、犯人は逮捕されていないが、被害者は元マラスメンバーであり、内部抗争または、敵対マラスとの抗争により殺害された可能性があるとの見解を示している。

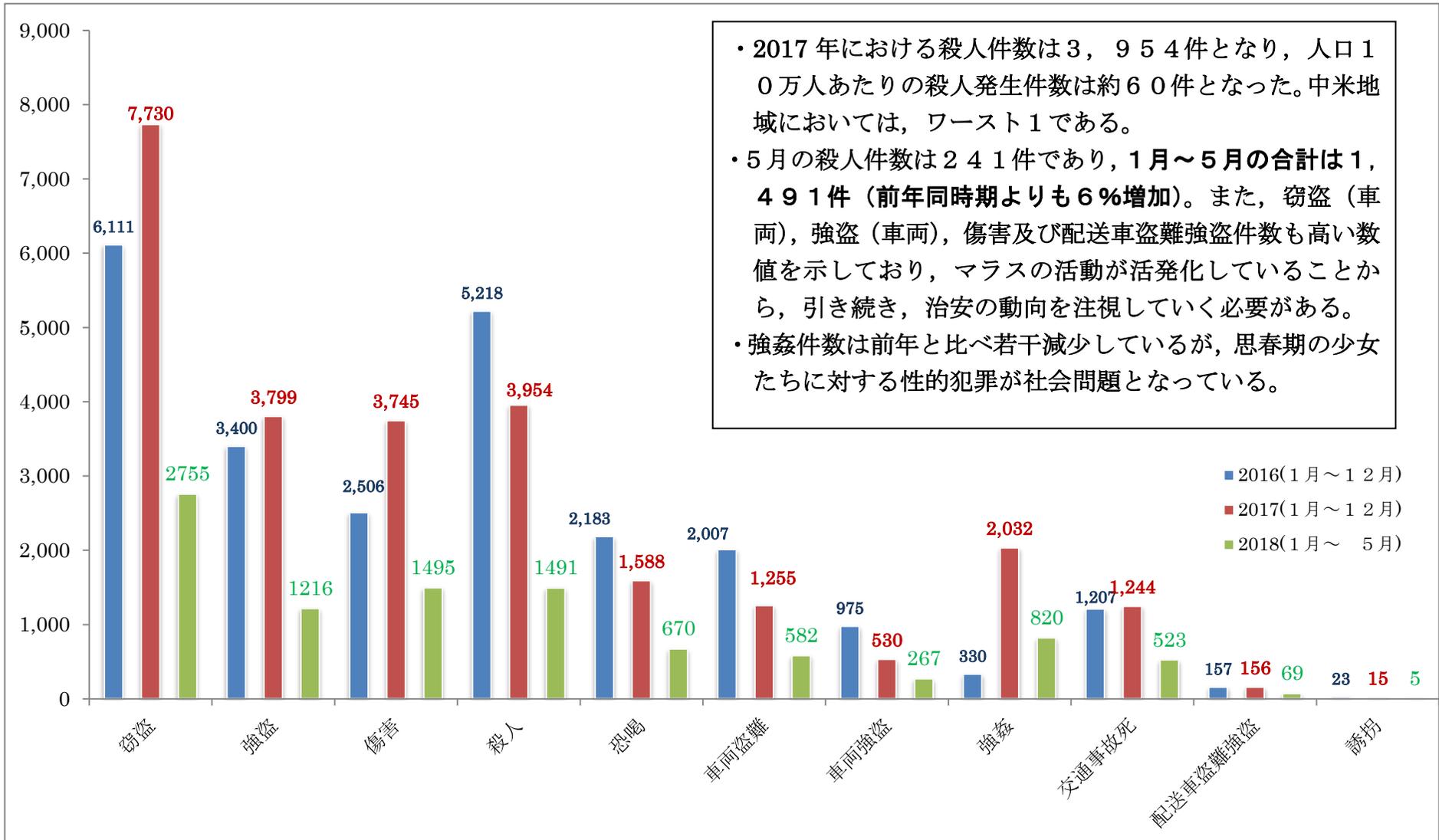
【観光地等における危険度レベル】

レベル1: 十分注意区域

レベル2: 不要不急の渡航中止区域

国立ダビッドJ・グスマン人類学博物館(MUNA)	サンサルバドル旧市街
ティン・マリノ児童博物館	平生三郎公園
エルサルバドル美術館(MARTE)	サンサルバドル市の動物園
プレシデンテ劇場	プエルタ・デル・ディアブロ
サンサルバドル近郊のゴルフ場	
ベンゴア球場	
サンサルバドル市国立民芸品博物館	
クスカトラン・スタジアム	
サンサルバドル火山	
カフェタロン・フットサルコート	
ラ・リベルタ県のビーチ	
イロパンゴ湖	
サンタテクラ旧市街	
コアテペケ湖	
セロベルデ自然公園	
エル・ピタル山	
ラ・パルマ市	
サンタ・テレサ温泉	
スチト旧市街	
サン・アンドレス遺跡	
タスマル遺跡	
カサ・ブランカ遺跡	
サンタ・アナ旧市街	
オロメガ湖	
エル・ホコタル湖	
サン・ミゲル市	
オロクイルタ市	

治安統計  
主要 11 犯罪（5 月）過去 2 年との同時期の比較



## 主な来館者

- 6月5日 Canjura 教育大臣：教育分野での協力関係打合せ
- 6月6日 Diario de Hoy 社長：ラウニオン港関係打合せ
- 6月6日 ブラジル新大使：表敬
- 6月7日 FUNDE 総裁：ラウニオン港関係他打合せ
- 6月11日 JICA 本部出張者：Jocotal 湖管理関係打合せ
- 6月15日 中米大使（グアテマラ、ホンジュラス、ニカラグア、ドミニカ共、ベリーズ）：情報交換
- 6月19日 エルサルバドル国立大学（UES）学部長他：日本語教育、文化交流他
- 6月20日 FESA 空手協会会長他：空手普及活動打合せ
- 6月27日 中米大学（UCA）学長他：文化交流他